

花満つる水戸城跡の先端に、知道会の江幡会長、奨学会の寺崎会長を始めとするご来賓、保護者の皆様をお迎えして、このように盛大に入学式を挙行できますこと、大変ありがたく、心より御礼申し上げます。まずは、新入生の皆さん、入学おめでとう。また、保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。お子様は、水戸一高在学中に成人となります。ご家庭と連携を密にしながら、しっかりと育成・支援してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて今日は新入生の皆さんに、4つの数字を挙げながら、メッセージを送りたいと思います。

最初の数字は、147です。水戸一高は、今年で創立147年、県内随一の歴史と伝統を誇ります。そして皆さんは、3年後、創立150周年の節目の春に、中学・高校を卒業していくこととなります。本校の、ひいては日本の新たな発展の基礎（もと）となるべき世代として、至誠一貫、堅忍力行の校是を胸に、初心を忘れず、それぞれの目標に向かって努力精進してください。

二つ目の数字は、76です。今から76年前の1949年に、二つの行事が始まりました。本校が誇る伝統行事「歩く会」と「学苑祭」です。ともに今年77回目を迎えます。そのほかにも本校には、クラスマッチや全日ホームルームなど、たくさんの行事があり、課外活動も盛んです。勉強だけでなく、行事や課外活動にも主体的、積極的に参画し、大いに青春の日々を謳歌してください。

三つ目の数字は、75です。今から75年前の1950年、水戸一高に初めて女子が入学してきました。402名の1年生のうち、たった二人。1215名の全校生徒のうち、たった二人。「ほんとの学問を男性と一緒にしっかりと学びたい」。そう願い、勇気を持って飛び込んできた二人の女子生徒から、共学校としての本校の歴史は始まりました。そして共学化75年の今年、この場にいる新入生の48%が女子となりました。

また、本校には、性別だけではなく、生まれ育った場所や、ものの見方・考え方、趣味や特技などが異なる、多様な生徒が通ってきています。「多様性」こそ、本校の強みです。この中には、同じ学校から一人だけで入学してきた人が、全部で49名います。あなたは、大きな強みを持って、本校の一員となりました。不安に思うことなく、自信と誇りを持って、新たな人間関係を築いてください。一方で、同じ学校から複数で、大勢で、入学してきた皆さん、他校の出身者とも積極的に交流して、視野をさらに広げてください。

最後四つ目の数字は、25です。今から25年前の2000年に、「江山閣」という、ガラス張りの美しい建物が校内にたちました。設計者は、卒業生の妹島和世さん。世界の女性で二番目に「建築界のノーベル賞」と呼ばれる賞（プリツカー賞）を受賞された、世界的建築家です。妹島さんは、周囲の豊かな自然に溶け込むように、江山閣をデザインされました。

緑多く、空広き、水戸城址の自然もまた、本校の誇りです。中学・高校時代は、悩み多き、不安多き時期でもありますが、ときに悠久の自然が皆さんを癒してくれることでしょうか。もちろん、何かあれば、私たち職員に遠慮なく相談してください。「放任すれども、放置せず」。本校は、生徒の自由を最大限尊重する学校ですが、一方で、支えが必要な生徒を置いてきぼりにすることはありませんので。

以上、147、76、75、25という4つの数字を挙げて、話をしました。足すと、いくつになりますか？ということで、323名の新入生の皆さんが、充実した323通りの学校生活を送り、全員笑顔で卒業の日を迎えられることを心より願って、式辞といたします。最後に改めて、入学おめでとう。